

(23) 大学改革推進委員会**① 設置の趣旨（目的）及び組織****ア 組織設置の趣旨（目的）**

大学改革推進委員会は、教育研究評議会の専門委員会として、上越教育大学の教育及び研究等の機能強化を推進するため、その改革・改善案を策定することを目的に平成29年4月に設置された。

イ 組織の構成及び構成員等

大学改革推進委員会は、理事（非常勤を除く。）、副学長、附属図書館長、学系長、専攻長、学長が指名した教授又は准教授（講師及び助教を含む。）、その他学長が指名した者若干人から組織されており、平成29年度は計19人の構成とした。

② 運営・活動の状況**ア 委員会等の開催状況**

平成29年度は以下のとおり20回開催した。

- ・ 第1回 平成29年4月19日（水）
- ・ 第2回 平成29年5月9日（火）
- ・ 第3回 平成29年5月24日（水）
- ・ 第4回 平成29年5月31日（水）
- ・ 第5回 平成29年7月4日（火）
- ・ 第6回 平成29年7月28日（金）
- ・ 第7回 平成29年9月1日（金）
- ・ 第8回 平成29年9月7日（木）
- ・ 第9回 平成29年9月13日（水）
- ・ 第10回 平成29年10月4日（水）
- ・ 第11回 平成29年10月18日（水）
- ・ 第12回 平成29年11月1日（水）
- ・ 第13回 平成29年11月29日（水）
- ・ 第14回 平成29年12月14日（木）
- ・ 第15回 平成29年12月20日（水）
- ・ 第16回 平成30年1月5日（金）
- ・ 第17回 平成30年1月19日（金）
- ・ 第18回 平成30年2月7日（水）
- ・ 第19回 平成30年2月28日（水）
- ・ 第20回 平成30年3月14日（水）

イ 審議された主な事項

平成29年度の主な審議事項は次のとおりであった。

- i) 第3期中期目標期間における大学改革
- ii) 「21世紀を生き抜くための能力+ α 」育成のための取組

ウ 重点的に取組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

i) 第3期中期目標期間における大学改革

第3期中期目標期間中の大学改革について、平成28年度に策定した「大学改革基本構想」に更に改定を加え、その内容に基づいた検討を進めるため、本会議に9つのワーキングと1つの連絡会議を設置し、具体的な教育組織、教員配置、カリキュラム等の検討を行った。検討の結果、平成31年度から、修士課程の教育研究機能を教職大学院に発展的に移すこととし、先端教科・領域である小学校英語やプログラミング教育、教科横断教育開発など、新たな課題に対応する教育課程を教職大学院に開設することとした。また、修士課程では、教職大学院で導入されている「学校における実習」や「共通科目」を取り入れたカリキュラムを新たに構築することとした。

ii) 「21世紀を生き抜くための能力+ α 」育成のための取組

本学が第3期中期目標において目標の一つとしている「21世紀を生き抜くための能力+ α 」の育成をさらに実践的に図り、社会に還元するための取組として、中核となる「思考力」の捉え方、及び「思考力」の使い方を方向付ける「実践力」の捉え方に関し、各コース・科目群において検討した内容を取りまとめ、本学出版会から、それぞれ『「思考力」を育てる－上越教育大学からの提言1－』及び『「実践力」を育てる－上越教育大学からの提言2－』と題し、出版した。

さらに、「思考力」及び「実践力」の育成を大学や大学院の授業の中でどのように展開しているのかを、その実践レポート集、『「思考力」が育つ教員養成－上越教育大学からの提言3－』及び『「実践力」が育つ教員養成－上越教育大学からの提言4－』として出版した。

③ 優れた点及び今後の検討課題等

ア 優れた点

今年度は「重点的に取組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等」で述べたとおり

i) 第3期中期目標期間における大学改革

ii) 「21世紀を生き抜くための能力+ α 」育成のための取組

について検討を進め、「第3期中期目標期間における大学改革」については「大学改革基本構想」を基に具体的な内容を決定し、「21世紀を生き抜くための能力+ α 」育成のための取組については、冊子の出版を行った。

イ 今後の検討課題

平成31年度の大学改革の実施に向けて、同委員会を主体に、全学的に取り組んでいく必要がある。